

通牒

受時第三百五十五號

昭和十四年十月二十七日

鳥取縣總務部長

市町村長殿

明治節奉祝實施ニ關スル件

來ル十一月三日明治節奉祝ニ際シ實施要項別紙ノ通決定相成候ニ就テハ其ノ實踐項目ハ地方ノ事情ニ即應スル様適當ニ定メ各種團體長、學校長等ト協議ノ上實施相成様致度此段及通牒候

(別紙)

明治節奉祝實施要綱

(昭一四一〇五) 次官會議決定

一、趣旨

謹ミテ明治節ヲ壽ギ奉リ 明治天皇ノ聖德ヲ仰ギ鴻業ヲ俾ビ奉ルト共ニ皇運扶翼ノ奉公精神ヲ國民各人ノ行動ノ基本トシ以テ眞ニ舉國一體タルノ國民的信念ヲ昂揚シテ國民精神總動員ヲ強化シ強力日本建設ニ向ツテ邁進スルノ決意ヲ固メントス

二、實施方法

(一) 當日午前九時ヲ期シ「國民奉祝ノ時間」ヲ設定シ各家庭其ノ他ノ場所ニ於テ夫々宮城遙拜ヲ行フコト

- (二) 此ノ爲同時刻ニハ汽笛、サイレン、鐘等ヲ用ヒ適當ナル周知方法ヲ講ズルコト
- (三) 官公署、學校、各種團體、會社、銀行、工場等ニ於テハ奉拜式又ハ奉祝式ヲ行ヒ特ニ本文趣旨ノ徹底ヲ圖ルコト
- (四) 市町村ニ在リテハ成ルベク市町村民ノタメ神社、學校、公會堂等適當ナル場所ニ於テ奉祝ノ方法ヲ講ジ本文趣旨ノ徹底ヲ圖ルコト

發社第七百六十號

昭和十四年十月二十八日

學務部長

市町村長殿

早魃ニ依リ被害ヲ蒙リタル軍人遺家族ノ援護ニ關スル件

今夏ノ早魃ニ依リ軍人遺家族ノ被害對策ニ關シテハ種々御配意中ノコトト存候得共既ニ被害ノ程度並ニ範圍モ決定的ト相成候今日之カ罹災者ノ援護ハ最モ急務トスル所ニシテ速カニ援護對策ヲ樹立實施スルノ要有之ト存候就テハ左記事項特ニ御留意ノ上關係機關ヲ督勵シ軍人遺家族ノ生活狀態ノ再調査ヲ行ヒ援護ノ普及徹底罹災者ノ生活安定上遺漏無之様格別ノ御配意相成度此段及通牒候

一、現ニ援護中ノ者ニ付テハ家庭ノ實情ニ照シ援護ノ種類、程度方法等ヲ再檢討シ之カ變更ヲ要スル向ニ在リテハ事情ヲ具シ申請ヲ爲スコト

二、要援護者ニ付テハ軍事扶助法、軍人援護事業及召集解除者生業援護事業等ノ適切ナル運用ヲ

期スル外恩賜財團軍人援護會鳥取縣支部並市町村銃後奉公會ノ事業ノ活用ヲ圖リ援護ノ徹底ヲ期スルコト

三、援護實施に付テハ漫然ト生活扶助ノミニ依倚スルコトナク可成生業援護ノ活用ヲ促シ生業ノ維持増進生活ノ向上ニ資スルト共ニ勤勞精神ノ助長ニ努ムルコト

四、生活扶助ノ新規開始又ハ増額ノ時期ハ其ノ被害カ米作ノ如キ場合ニ在リテハ大体端境期以後其ノ他ノ被害ニ付テハ罹災ノ影響カ直接生活ニ及ホスヘキ時期以後トスルコト

五、早害ノ爲メ生活扶助(新期又ハ増額)並ニ生業、醫療、助産、埋葬等ノ援護及其他關係ノ援護申請ニ際シ願書ニ必ス太字ニテ「早害」ノ字ヲ願書ノ左上ニ赤書スルコト

發林第三百三十二號

昭和十四年十月二十六日

市 町 村 長 殿 鳥 取 縣 知 事

用材生産統制規則公布ニ關スル件

近年特ニ事變ノ推移ニ伴ヒテ木材ノ需給ハ頓ニ激増シ他面年々多額ノ輸入ヲ見ツツアリタル外國材ハ國際貸借調整上ヨリシテ極力阻止セサルヘカラサル實情ニアルニモ不拘此儘經過センカ昭和初年ノ需要ニ倍加スル現狀ヨリ見テ早晚木材ノ飢饉ヲ招來スルハ明ナル處茲ニ於テ政府ハ是等物資ノ節約ト要給ノ圓滑ヲ圖ルヘク緊急且最モ適切ナル對策トシテ客月二十七日農林省令第四十五號用材生産統制規則本月十三日付官報ヲ以テ公布シ來ル十一月一日ヨリ施行スルコト、相成リ縣ニ於テモ縣令ヲ公布シ右規則ノ適正ヲ期シ用材ノ檢査ヲ實施可致ニ付之カ運行如何ハ舉ケテ國策ニ影響スル處

至大ト云フヘク獨リ業者而已ナラス一般縣民ノ克ク自覺ヲ要スル儀ト思料セラルルヲ以テ右起旨充分御檢討ノ上可然周知方御取計相成様致度此段及通牒候也

追而關係例規(用材規格規程登載)別途交付可致ニ付御了知相成度候

受商第五千一百九十九號

昭和十四年十月二十一日

市 町 村 長 殿 經 濟 部 長

鐵鋼需給調整ニ關スル件

支那事變勃發以來鐵鋼ノ使用ニ關シ各種ノ制限實施セラレタルカ此ノ如キハ畢竟スルニ鐵鋼需要ノ激増ニ對シ國內資源ノ十分ナラサル關係上供給ノ之ニ伴ハサル實狀ナルニ鑑ミ國家的ニ觀テ緊急ナル需要ヲ充タス爲ニ不急不要ナル用途ヲ抑制又ハ節約セントスル趣旨ニ他ナラス候處斯ル制限ハ國民ノ日常生活ニ著シキ不便ヲ與フル爲ニ其ノ趣旨ハ必スシモ國民一般ノ理解ヲ得難ク屢々不滿ノ聲ヲ聞クハ遺憾ニ候固ヨリ鐵鋼ハ日常生活ノ必要品ナルヲ以テ其ノ圓滑ナル供給ニ付テハ充分ノ注意ヲ拂ヒツツアリト雖時局ノ進展ニ伴ヒ其ノ需給關係ハ依然樂觀ヲ許ササルモノ有之候ニ付テハ貴部内一般ニ右趣旨ノ徹底ヲ圖ルト共ニ左記方針ニ依リ御指導相成度此段及通牒候

追而本件ニ關シテハ農、林、水産、商、工、貿易其ノ他ノ産業團體又ハ教化團體ニモ十分協力セシムル様御配慮相煩度申添候

一 工作物ノ築造ハ之ヲ自制セシメ鋼材、亞鉛鍍板、釘等ハ極力之ヲ節約セシムルコト

緊急必要ノモノト雖當該部門ノ割當ノ餘裕又ハ手持アルト否トヲ問ハス鐵鋼以外ノ資材ヲ以

- 一 建設セシメ又ハ既設工作物ヲ繰替利用スル様考慮セシムルコト
- 一 鐵鋼製ノ工作物又ハ什器類ニシテ容易ニ木竹製陶磁器製等ニ改造又ハ置換ヘ得ルモノハ公共團體等ノモノハ勿論各個人ノモノニ付テモ考慮セシムルコト
- 一 既存又ハ新ニ發生スル故又ハ屑ノ鐵鋼ハ之ヲ死藏スルコト無ク速ニ日本鐵屑統制株式會社ニ賣却シ鐵鋼ノ圓滑ナル供給ニ協力スル様勸說スルコト
- 一 各種物資ノ荷造包裝ニ付テハ物資ノ種類、數量、荷造包裝ノ目的其ノ他ヲ十分考慮セシメ漫然從來ノ習慣ニ支配セララル爲又ハ必要以上ノ堅牢ヲ期スル爲釘、針金、帶鐵其ノ他ヲ濫費スルコトナキヲ期スルコト
- 一 尙竹釘、繩、蔓籠、俵ノ類ヲ以テ鐵鋼製荷造包裝用具ニ代用セシムルコトニ付テハ考慮ヲ拂ハシムルコト
- 一 罐詰用空罐ノ輸出用及軍需要以外ニ充當スヘキ數量ハ之ヲ増加セシムルコト困難ナルヲ以テ食料品罐詰ノ製造ニ付テハ商工省ニ於テ適切ナル方策ヲ考慮中ナルモ不取敢國民一般カ濫ニ食料品罐詰ヲ消費シテ罐ノ需要ノ増加ヲ招來スルコトナキ様自制セシムルコト
- 一 農畜水産物其ノ他ノ出荷團體ヲシテ釘其ノ他荷造包裝材料ノ使用ニ付團體員ノ指導ヲナサシムルト共ニ荷受者側ト連絡シ空箱其ノ他ノ回收ヲ組織的ニ行ハシムルコト

受學第四千五百八十九號

昭十四年十月二十四日

學務部長

市町村長
小學校長
青年學校長
殿

明治神宮國民體育大會地方大會
實施ニ關スル件

首標明治神宮國民體育大會ハ本年ヨリ政府自ラ主催シ一層 明治大帝ノ御聖德ヲ敬仰シ奉リ御祭神ノ御前ニ國民ヲシテ心身鍛鍊ノ成果ヲ奉納セシメ進ンデ現下ノ難局ヲ打開シ東亞新秩序ノ建設ノ礎石タルノ覺悟ヲ誓ヒ奉リ眞ニ國民精神總動員ノ具現タラシムベク來ル十月二十九日ヨリ十一月三日迄中央大會ヲ開催スルト共ニ明治節ノ佳辰ヲトシ全國各市町村一齊ニ地方大會ヲ開催スルコトト相成候條左記ニ依リ實施相成度此段依命通牒候

- 一、實施期日ハ十一月三日但シ當日雨天ノ節ハ後日適當ナル日ニ實施スルコト
- 二、各市町村主催スルコト
- 三、一市町村一家族主義ニテ全市町村民舉ツテ參加セシメル様努ムルコト
- 四、實施ニ際シテハ質實剛健ヲ旨トスルコト
- 五、開會式、閉會式ヲ嚴肅ニ實施スルコト
- 六、運動種目ハ合同體操(ラヂオ體操、大日本國民體操)團體行進、各種運動競技ハモトヨリ武道、相撲、繩引等地方ノ實情ニ即シタル種目ヲ選定實施ノコト
- 七、實施狀況ハ遲滯ナク報告ノコト